



2020・7・11

第 379 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

対話・署名広げ、安倍改憲にとどめを

緊急事態条項の危険を学ぶ

【和歌山県／和歌山障害者・患者九条の会】 「和歌山障害者・患者九条の会」は 6 月 28 日、和歌山市ふれ愛センターで 23 名が参加して、14 周年の総会と記念講演会を行いました。総会の後に行われた記念講演は、「憲法九条を守るわかやま県民の会」の坂本文博先生による「コロナ危機に乗じた改憲の動きは許せない！」でした。

改憲 4 項目の一つである緊急事態条項。

ドイツではワイマール憲法 48 条の大統領非常権限が乱発された結果、ナチス・ヒトラーの独裁政権に道を開いたことや、我が国では 1928 年、治安維持法改正案が廃案になりながら天皇勅令によって押し通されたなどの歴史がある。戦後の日本国憲法ではそれらの反省から緊急時には個別の法律で対応することとし、緊急事態条項の必要はないとされた。今回のコロナ危機は保健所の人員や予算を削減してきたことが拡大につながった。日頃からの備えを怠った結果である。感染症特措法の緊急事態条項は自粛要請のみで罰則はなく、全く性質の異なる

「敵基地攻撃」の用語変更で逃げ？

閉会中国会で 8 日、衆院安全保障委員会が開かれ、ミサイル防衛、敵基地攻撃をめぐる論議が行われました。

「敵基地攻撃」は国際法の先制攻撃禁止の原則に反する」との追及に、河野防衛相は、「誘導弾等に対する攻撃を防ぐために他に手段がないと認められる場合」には認められるとの過去の政府解釈（56 年 2 月、鳩山内閣）にもとづき「違憲」ではないと答弁。

しかし自民党内では、すでにミサイル発射をさせないためにその国がミサイルに燃料を注入した段階で「迎撃」すべきとの論議すら強まっているといえます。自衛隊に宇宙部隊を創設したり、宇宙情報衛星を 4 機から 10 機に増やす計画などもそのためでしょうか。これで「専守防衛」などといえないとの批判をかわすため、これまでの「敵基地攻撃」という用語を「自衛反撃能力」にすることも検討しているとのこと。

用語の操作で本質を隠そうとするだけ。

ものである。

昨年、一昨年の通常国会、臨時国会、今年の通常国会と、5回も改憲発議を許さなかった世論の力に自信をもつべきである。コロナ禍で様々な活動が制限される中、県民の会で取り組んだ新しい署名活動の方式なども紹介されました。

コロナウイルスの影響で、時間を短く設定、参加者はマスクを着用、椅子の間隔をあけ、マイクは使い回さないなど、感染対策を徹底しての開催となりましたが、例年と変わりが無いほどの人数が集い、とても喜ばしい有意義な一日となりました。(会の事務局・野尻誠さんより「九条の会・わかやま」404)。

女子高生が飛び入り参加

【石川県金沢市／安倍改憲NO！なんぶアクション】 金沢市の「なんぶアクション」は1日、平和町のスーパー前で安倍改憲を許さないとスタンディング宣伝をしました。

27人が参加し、「憲法9条を守ろう」と書いた横断幕や「安倍内閣もうんざりです」「軍事費をコロナ対策に」と書いたプラスターを掲げてアピールしました。通行する車がクラクションを鳴らして激励するなど注目を集めました。

参加者が交代でマイクを持って「安倍政治にストップをかけ、憲法変えずに政治を変えよう」「ウソとごまかし隠ぺいの安倍政治は許せない」と訴えました。

寺町台9条の会の沢田茂章さんは、河井克行前法相夫妻の公職選挙法違反事件にふれ、「安倍総理の任命責任が問われる。な

ぜ国会を延期しないで閉じたのか。それは、国民に顔向けできない、説明ができないからだ」と指摘。「こんな政権に大事な政治を任せられることができるでしょうか」「改憲許すな、憲法守れ」と訴えました。

通りかかった女子高生が飛び入り参加しました。「新型コロナ問題で政治に関心を持つようになった」といい、「憲法を守り平和を大事にしたい」と熱心に語り、「安倍9条改憲NO！」ののぼり旗を自分で持ち、一緒にスタンディングしました。

全国署名訴え広がる対話

【青森県／青森県九条の会】 青森県九条の会は7日、青森市新町商店街で「安倍改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を広げる、街頭署名行動に取り組み、17名が参加しました。

マイクを握った参加者は「9条を変えてはいけない！アベ9条改憲は戦争への道」と、横断幕にかかれた言葉を読み上げ「一緒に『憲法を変えるな』と声を上げ、改憲発議を阻止しましょう」と訴え、署名を呼びかけました。

「今日は、七夕だから」と真珠のイヤリングを揺らして見せた女性(73)は、「安倍さんは、改憲して戦争をできるようにしたいだけだよ。はっきり言えば国民から反対されると分かっている。汚い人だよ」と顔をしかめました。

85歳の女性は、「自衛隊の人、戦争したくて入隊したんじゃない。隊員の親や私たちも9条があるから大丈夫と言い聞かせてきたところがある。9条は平和のとりで。絶対に変えちゃダメです」と訴えました。

参加者の呼びかけに共感し、署名した女性（70代）は、対話がはずみ意気投合。署名後、「戦争させないように、みんなで声をあげていきましょう。がんばりましょうね」と周りの参加者にも呼びかけ、激励していました。

膨らむ防衛費をコロナ対策に

【岐阜県／岐阜・九条の会】 岐阜市・名鉄岐阜駅前で6月29日夕、岐阜・九条の会による「毎月9のつく日」行動（259回目）が取り組まれました。「今こそ命とくらしを守る政治をつくろう」と書いた「岐阜総がかり行動」のビラを配布しました。

事務局の林邦男さん（75）が安倍政権の後手後手のコロナ対策を批判、「防衛費の新規武器購入費に使う1・1兆円があれば、集中治療室ベッドや人工呼吸器の確保など十分な対策ができる。防衛費をコロナ対策に回そう」と訴えました。

訴えを聞いていた綾戸忠海さん（42）＝無職＝は「武力行使ができる自衛隊にするための9条改憲は問題だ」と話しました。

回追うたびに広がる関心

【奈良県／奈良市九条の会交流会】 7月5日、奈良市九条の会交流会のよびかけでJR奈良駅東口でスタンディングが行われました。ツイッターを見て参加した方や「#安倍改憲NO!」「#安倍首相退陣」求める市民30名が参加しました。道路の両サイドに「改ざん内閣は総辞職」「私たちの願い 平和の願い それが9条」「新しい憲法からの抜粋」「あれアカン、これも悪い安倍政権 市民と野党の共闘で 命・く

らし・平和を守る政治に」「安倍9条改憲NO! 憲法替えるな政治を替えよう」「アベ総理の描く憲法改正のシュミレーション」「#国民投票法改正に反対します」「スーパーシティ法とは？中止を求めます」「国連広場 イザヤの壁の詩」などを参加者が持ち寄り掲げてスタンディング。通行人は横断幕にかかっている内容をじっと読みながら写真をとっている人、配付されたチラシを立ち止まって見ている市民もいました。

以前と違って私たちのスタンディングに共感してくれる人が増えてきました。6名の方がスピーチ。「第二次世界大戦の多くの犠牲の上に作られた憲法を変えては駄目!」「憲法は押し付けられたものではない」等憲法9条守ることの大切さ、アベ政権の嘘や改ざん、脱法や悪法への怒りと安倍退陣を求めるスピーチ、コロナ禍で夜の街を攻撃する首長への批判など訴えました。

蟻の会の皆さんは街頭での歌声は自粛のためCDによる歌声が広場に響きわたりました。（九条の会奈良県ネットワーク）

野党代表がリレートーク

【香川県／9条の会・革新懇】 9条の会かがわと香川革新懇は6日、高松市内で安倍内閣退陣を求めて集会とデモ行進を行いました。

小川淳也衆院議員（無所属・立憲民主党県連顧問）、木村篤史国民民主党県連代表代行、池野元章日本共産党東部地区副委員長、高田良徳社民党県連代表、井角操新社会党県本部委員長がリレートークしました。

小川氏は、検察庁法改定案廃案に触れ「勇気ある声をたくさんあげた。その結果とし

での断念です。一般の人が声を上げたことに敬意の気持ちです」と話しました。

池野氏は「このままの日本でいいのかが問われ、安倍政権にかじ取りを任せられないとの声が広がっている。総選挙で、野党の力で新しい政治をつくっていかう」と呼びかけました。

参加者は「河井夫妻にボーナスが出たのに10万円はまだ届かない」とシュプレヒコールを上げて行進。参加した医療機関で働く女性(55)は「コロナで患者は減っています。病院の経営はどこも厳しい。安倍政権にまかせてもらえない」と話しました。

活動日誌教科書展での要請も

【横浜市青葉区／青葉台九条の会】

○12時から沖縄慰霊祭が行われ、今年もまた高校生の力強い反戦詩が朗読された。

○中学校教科書問題 今回の採択では育鵬社版を排除できるチャンスと思われる。アピール賛同者になっていただくとともに、展示会に行き、直接教育委員会へ要請を出してほしい。22日から26日まで山内図書館、緑図書館(等)で展示会が行われるので参加し、歴史と公民では育鵬社、道徳では日本教科書を採択しないよう要請を。

○カジノは横浜進出最有力候補のラスベガスサンズが資金で行き詰まり日本進出を断念したことにみられる通り、もはやポストコロナ時代では生存できない博打事業であることが世界中に明らかになった。これを反映して政府や横浜市も混乱していると思われ、カジノ日程も遅れざるをえないことは明らか。見方によってはカジノそのものが死に体ともいえるが、闘いを再開して

叩き潰したい。今後は16日(木)午後4時からあざみ野駅での宣伝を予定。週1回程度は行う予定。また2回目の受任者あてポストインが目下行われている。

全有権者との対話めざし新チラシ

【新潟県9条の会】 いつもお世話になっています。

県9条の会で新しい憲法チラシを作成し、全県的に大規模に活用できるように市民アクション@新潟の名前で発行することになりました。地域・団体で大量に活用できるように市民アクションの参加団体の平和センター・憲法センターと県9条の会が一定の財政支出を行って、1枚1円で活用してもらうことにしています。

多くの方が届けようと思えるもの、早ければ年内総選挙も予想されるだけに、コロナ禍での国民のいのち・暮らしを優先しない政治——憲法にもとづいた政治になっていない、ここを正し、コロナ禍でこそ憲法にもとづいた政治が求められていることの対話を全有権者規模に広げることの対話の武器となるようにという思いで作成しました。

8月には渡辺先生を迎えて、全県的な学習会も予定しています。市民と野党の共闘をさらに前進させて、安倍内閣を退陣に追い込み、改憲策動にとどめを刺すようコロナの感染問題に配慮しながらも運動の再構築をこのチラシの活用を進めることを通じて目指したいと考えています。

今後ともご指導・ご援助、よろしくお願ひいたします。(2020.7.7 新潟県9条の会事務局 藤原龍二)